



歌の雰囲気を感じる作品に

旧崇広堂書道展 書道講座
「童謡を書で表現してみよう！」（9月30日）

国史跡旧崇広堂で、旧崇広堂書道展 書道講座「童謡を書で表現してみよう！」を行いました。参加者は、童謡「ぞうさん」や「紅葉」、「どんぐりころころ」など、あらかじめ考えてきた好きな童謡の歌詞を半紙に練習しました。

講師に手本を書いてもらったり、文字の表現や筆の運び方などのアドバイスを受けながら、参加者は真剣な面持ちで歌を書き上げ、最後には大きな紙に清書して個性豊かな作品を完成させました。

▶一つひとつの文字を丁寧に書き、歌を表現しました。



◀講師はどんなイメージの作品にしたいかを参加者に聞きながら手本を書き上げました。

美しい灯りがまちを彩りました

伊賀上野 灯りの城下町（10月7日～9日）

銀座通り周辺や国史跡旧崇広堂などで灯りの城下町が行われました。

大和街道などではたくさんの竹灯りや和傘灯りが設置され、普段とは違った街並みで道行く人を楽しませました。

昨年に引き続き、今年もフォトコンテストが開催され、灯りに彩られた街並みを写真に収める人も多く見られました。

国史跡旧崇広堂では灯りをテーマにした作品が展示されたほか、お囃子の演奏が行われ、訪れた人たちは上野天神祭の様子を思い浮かべながら聞き入っていました。



▲上野天神祭で演奏されるお囃子が披露されました。



▶和傘灯りや行灯などが飾られた街並み



▲いろいろな国の食べ物が販売されました。



▶勇壮なエイサーの踊りが披露されました。

ダンスで交流

伊賀市国際交流フェスタ 2017（10月8日）

市内農産物直売所で、伊賀市国際交流フェスタ 2017 を行いました。

今年は踊りをテーマに開催し、ステージではハワイのフラダンスや日本のエイサー、中東のベリーダンスなどが披露され、会場を盛り上げました。

また、会場にはブラジルやペルーなど6カ国の食べ物や雑貨を売る出店が設けられ、訪れた人は珍しそうに買い求めていました。



晴天に恵まれて

ひじきコスモス祭り収穫祭 (10月8日)

比自岐小学校とその周辺で、第25回ひじきコスモス祭り収穫祭が行われました。

ステージでは、バンド演奏やフラダンスなどが披露され、訪れた人を楽しませました。

また、会場には多くの出店が並び、答志島の海産物の販売ブースには、鮮魚や干物など、伊賀では珍しい海の幸を求めて多くの人がつめかけ、賑わいをみせていました。



▲答志島産のイカやアジ、ハマチなどの干物が販売され、販売ブースは盛況な様子でした。

◀ステージではフラダンスが披露され、会場は南国の雰囲気にも包まれました。

本紙 18 ページの「秋季全国火災予防運動」について、わかりやすく解説します。



こども広場 「火災予防運動」

火災予防運動の歴史

火災予防運動は、アメリカ合衆国にならって行われるようになったと言われています。

アメリカ合衆国の火災予防運動は、1911年10月9日に国全体で初めて行われた「火災予防デー」がはじまりとされています。

日本でも、明治時代の終わり頃には「火の用心」のチラシを配ったり、講演会を行ったりして火災予防に努めていました。

春と秋の火災予防運動

最近では、春の火災予防運動を、3月1日から7日まで、秋の火災予防運動を11月9番の日となっている11月9日から15日までの期間で行うようになりました。この期間に総務省消防庁から示される「全国火災予防運動実施要綱」に基づいて、火災予防運動を行っています。

伊賀市では消防訓練などを行います

伊賀市では、火災予防運動の期間中、市内の工場や店舗に立

入検査を行ったり、介護施設や工場などで消防訓練を行います。また、市内を消防車などでパレードしたり広報車で火災予防の広報活動をしています。

お父さんやお母さんに確認してみよう

防火標語

「火の用心 ことを形に 習慣に」

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブの近くに燃えやすいものを置かない。
- 料理中、ガスコンロのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具・カーテンからの火災を防ぐために防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- 高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

【問い合わせ】 消防本部予防課

TEL 24・9105 FAX 24・9111

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など